

# 平群

Heguri

## ≡ 議会だより

### 12月定例会

No.244

平成26年2月1日  
発行:奈良県平群町議会

### 第5回定例会(12月)

議長挨拶	2
議決結果	3
質疑あれこれ	4~6
総務建設委員長報告	7~8
議会の動き・議員提出議案	8
平群町議会報告会	9
町政を問う! 一般質問	10~15
町の話題・生駒郡議会議員研修	16



はずむ二十歳の語らい (平成26年平群町成人式)

# 人口減少に歯止めを



議長 下中 一郎

平成二十六年の新春から、早一ヶ月が経ちました。皆様方におかれましては、寒さ厳しい折、お元気にお過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素は、平群町議会に対し、深いご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

さて、昨年の四月より第五次総合計画に基づいて、新たに本町のまちづくりが進められています。

直面する主な事業では、住民の安全・安心の確保のための防災対策事業をはじめ、二十七年

四月開園予定の幼保一体化施設の建設事業や、後半期に入っている平群駅周辺整備事業です。

なかでも、最も重大な局面を迎えているのは、町の活力源である人口の減少問題であります。この減少傾向に歯止めをかけ、増加させる手段がいま一番求められています。

本町においても、老後の安心や子育て支援など福祉の充実とともに、空き家の活用・定住促進などの施策を進めているところです。

いかに有効な施策を打ち出

していくにも基本的なスタンスとして、この自然豊かなふるさと平群に愛着を持ち、自信と誇りを持つことでもあります。

これからのまちづくりは、町議会・住民の三者がお互い緊張感のある連携を深め、共に力を合わせることであります。

これは、私達議会に課せられた使命であり、自己の能力を高め、不断の研鑽により議員としての資質の向上に努め、住民の信託に応えていくことが信頼される議会につながっていくと確信しており、全力で取り組んで参ります。

長い冬の時代を乗り越え、一日も早い春の息吹を感じる平群町のために皆様方より二層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

寒中お見舞い  
申し上げます



議長	下中 一郎
副議長	森田 勝
議員	井戸 太郎
〃	戎井 政弘
〃	奥田 幸男
〃	植田 いずみ
〃	山口 昌亮
〃	窪 和子
〃	高幣 幸生
〃	山田 仁樹
〃	繁田 智子
〃	馬本 隆夫

# 第5回定例会 こんなことが決まりました

平成25年の第5回定例会は12月10日から19日まで10日間の日程で開催しました。初日の10日は、町長提出の28議案が上程され、27議案を即決しました。残りの平成25年度一般会計補正予算(第3号)案は総務建設委員会(11日)に付託して審議しました。一般質問は17日、18日に行われ、11人の議員が質問しました。最終日は、総務建設委員会に付託した平成25年度一般会計補正予算(第3号)の委員長報告が行われ、全会一致で可決・成立しました。議員提出の「介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書」と「給付制奨学金の実現と学費無償化を進めることを求める意見書」は賛成多数で採択。「安心して介護が受けられるために、介護の拡充を求める意見書」と「特定秘密保護法の撤廃を求める意見書」は賛成少数で否決となりました。

## 議決結果賛否一覧 ○賛成 ●反対 (議長は、可否同数のとき議案の可否を決定します)

提出区分	議案名	議決結果	井戸太郎	戎井政弘	奥田幸男	森田勝	植田いずみ	山口昌亮	高幣幸生	窪和子	山田仁樹	繁田智子	馬本隆夫	下中一郎
町長提案	平群町子ども子育て会議条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	特別職の職員で非常勤のものの報酬、費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	平群町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	平群町立学校設置条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町放課後児童健全育成事業施設条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町社会教育委員設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町営住宅管理条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町介護保険条例の一部を改正する条例について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度平群町一般会計補正予算(第3号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度平群町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度平群町介護保険特別会計補正予算(第2号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成25年度平群町用地先行取得事業特別会計補正予算(第1号)について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提案	平群町体育施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町立老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町若井集会所の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町リサイクルセンターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町農村環境改善センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町活性化センターの指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平群町都市公園の指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	奈良県市町村総合事務組合の規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書(案)	原案可決	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○
	給付制奨学金の実現と学費無償化を進めることを求める意見書(案)	原案可決	○	●	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○
	安心して介護が受けられるために、介護の拡充を求める意見書(案)	否決	●	●	○	●	○	○	●	●	●	○	○	○
	特定秘密保護法の撤廃を求める意見書(案)	否決	●	●	●	●	○	○	●	●	●	○	○	○

議長は採決に加わりません

# 質疑あれこれ

12月議会に上程された議案  
及び質疑を紹介します。

方針、事業計画を策定し、その成果を総合的に判断して長いスパンで検証する中核をなすものにしたと考えています。

**質問** 第1回の会議開催日程とニーズ調査の日程の予定は。

**答弁** 承認されれば人選を行い、1月早々には開催し、並行してすすめているニーズ調査をふまえて年度内に2回目を開いていきたい。

**質問** きめ細かなニーズ調査をしてほしい。子ども子育て支援計画の策定についてどのように考えているのか。

**答弁** 26年度に審議して27年度に策定していきたい。

**質問** この会議の設置義務はないが、それを立ち上げるメリットは何か。

**答弁** 子育てにかかわる様々な会議がある。それを集約、統合して、平群町の子育て支援の中心にしていきたい。

**質問** この会議の委員について住民公募も必要と考えるが。

**答弁** 公募にするのか、各学校・幼稚園のPTAの代表にするか現在検討している。

## 職員の旅費に関する条例の一部改正

特別職の職員で常勤のものとの給与および旅費に関する条例の一部改正

教育長の給与・勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正

町議会議員の議員報酬・費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正

以上4件は、職員、町長、副町長、教育長、議会議員の日帰りの近畿2府4県と三重県への出張について、日当を不支給にする措置を来年4月から1年間延長するものです。

## 主な質疑

**質問** 昨年度の出張に伴う日当支給額はいくらか。

**答弁** 23年度は11万1800円。24年度は途中までの集計で6万5400円。



**質問** 毎年毎年、日当不支給にしているのなら、付則ではなく本則ですべきではないか。これは要望する。町長が今年須崎へ出張していたが、日当は何日分支給したのか。

**答弁** 2日分です。

特別職の職員で非常勤のものとの報酬・費用弁償に関する条例の一部改正

非常勤の特別職職員の日帰りの近畿2府4県と三重県への出張について、日当を不支給にする措置を来年4月から1年間延長するもの。同時に、平群町子ども子育て会議設置に伴って、同会議委員の報酬額を新たに定めるとともに、ひきつづき報酬額の2割の減額措置を来年4月から1年間延長するもの。

## 主な質疑

**質問** 減額幅に差がある理由と、この削減で支出額はいくらか減っているのか。

**答弁** 日額制については半日と1日とが多いことから2分の1にした。支出減については予算ベースで280万円程度。

## 町税条例の一部改正

地方税法の改正に伴うもので、主な改正は以下の3項目です。

① 寄附金控除の対象範囲の拡大…所得税の寄附金控除の対象となる寄附のうち、これまで個人住民税の控除対象外だった社会福祉法人など公益法人への寄附も控除の対象にするもの。平成26年度から適用。

② 個人住民税の公的年金からの特別徴収制度の見直し…これまで、4・6・8月の年金支給にたいする特別徴収額は、前年分の本徴収額(10・12・2月)の3分の1ずつの仮徴収だったのを、この条例改正後は、4・6・8月の年金支給にたいする特別徴収額が前年分の年税額の6分の1を仮徴収するもの。

次ページへつづく

平成28年10月以後の特別徴収について適用。

③金融所得課税の一体化：公社債等の利子及び譲渡損益について、上場株式等の配当及び譲渡損益と同じ税率（20%）及び課税方式とし、これらの間で損益通算を行えるようにするもの。平成29年度から適用。

### 主な質疑

**質問** 寄附金控除の対象範囲の拡大について、町内の法人と税収への影響額はどのくらいか。

**答弁** 町内の対象法人はシルバー人材センター、地域振興センター、北幼稚園、信愛会、あけぼの会、社会福祉協議会の6法人。影響額は今年度課税の試算では寄附金が13件・78万円で、町民税4万5240円です。

### 反対討論

寄附金控除の拡大については問題がない。公的年金の特別徴収の見直しについては、今回直接関係はないが、本人の意志にもとづかない強制徴収そのものに反対。

金融所得課税の一体化は、「一定額まで非課税」措置があるため、金融資産を多く保有する富裕層の税負担を引き下げることが必要になることから反対する。

### 賛成討論

金融所得課税の一体化は、非課税であったものが課税されることになることである。

### 国民健康保険税条例の一部改正

地方税法の改正で金融所得課税が一体化されたことに伴うものです。施行は平成29年1月1日から。

### 主な質疑

**質問** 改正による国保税収入への影響額は。

**答弁** 現時点では、試算をしていない。

**質問** 法律の変更で町条例が変わる場合は、その影響額についてはきちんと試算をすべきと考えますが。

**答弁** 住民に影響のあるものについては今後、検討していく。

### 反対討論

金融所得課税一体化に伴うもので、町税条例と同様の理由で反対する。

### 賛成討論

株式等の譲渡益の税率が20%に引き上げられることであり、賛成する。

### 町立学校設置条例の一部改正

東小学校と西小学校を廃止統合して、あらたに平群小学校を設置するためのものです。

### 放課後児童健全育成事業施設条例の一部改正

東小学校と西小学校を廃止統合して、あらたに平群小学校を設置することに伴い、東学童保育所と西学童保育所を廃止して、あらたに平群小学校に併設する学童保育所を設置するためのものです。

### 社会教育委員設置に関する条例の一部改正

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律により、社会教育法の一部改正が行われ、これまで法律で定めていた社会教育委員の委嘱の基準が削除され、当該委嘱の基準を条例で定めることとされたことに伴うものです。

### 町営住宅管理条例の一部改正

配偶者暴力防止等法の一部改正で、生活の本拠を共にし、共同生活を営んでいる交際相手からの暴力等の被害者も法の適用対象になったことから、引用条文を改正し、入居資格要件も同様に取り扱ったためのものです。また、地方税法の改正に伴って延滞金の割合を引き上げるものです。

### 主な質疑

**質問** 配偶者暴力防止等法の改正で入居の資格要件を拡大するものだが、具体的には。

**答弁** 被害者の判断は、配偶

者暴力支援センターや警察などに相談して判断。ケースバイケースで判断する。

### 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

あらたに10リットルの有料指定袋を追加するためのものです。

### 主な質疑

**質問** 10月から家庭系可燃ごみの有料指定袋になった。廃棄物の量の変化は。10リットル袋はいくつから利用出来るのか。

**答弁** 有料化前までの月平均は365リットル、10月249リットル、11月254リットル。10リットル袋は、可決すれば26年の2月には購入できるようにしたい。

**質問** 10リットル袋の原価は。

**答弁** 税込みの試算は6.64円。

### 後期高齢者医療に関する条例の一部改正

地方税法の改正に伴って、後期高齢者医療保険料の延滞金の割合を引き上げるものです。

次ページへつづく

## 介護保険条例の一部改正

地方税法の改正に伴って、介護保険料の延滞金の割合を引き下げるものです。

## 25年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）

主な補正は、公共下水道事業の遅れで減額になる加入負担金3290万円を前年度繰越金と一般会計繰出金で賄うものです。

## 25年度介護保険特別会計補正予算（第2号）

主な補正は、保険給付費の増額によるものです。その財源としては、給付費増に伴う国・県支出金、支払基金支出金、一般会計繰入金をそれぞれ増額し、不足分を介護給付費準備基金の取り崩しで賄うものです。

## 主な質疑

**質問** 給付費について、補正後予算が第5期計画と乖離している理由はなにか。

**答弁** 計画より施設整備が遅れていることによるものです。



竹あかりの集い(1月11日)

**質問** 計画に基づいて1号被保険者の保険料が決められている。今年度の会計の見直しは。

**答弁** 若干、計画値を下回るのではと考えている。

## 25年度用地先行取得事業特別会計補正予算（第1号）

平成21年度に公社から買い戻した12億6000万円の返済残額元金7億5600万円と、その利子440万円の計7億6040万円を一般会計からの繰入金で一括返済するものです。

なお、一般会計のこの財源は緊急防災・減災事業債（借金）を発行して確保するものです。

**町体育施設の指定管理者の指定**

**町活性化センターの指定管理者の指定**

**町都市公園の指定管理者の指定**

以上3件について、ひきつづき、地域振興センターを指定管理者に指定するものです。

**町立老人福祉センターの指定管理者の指定**

ひきつづき、町社会福祉協議会を指定管理者に指定するものです。

**若井集会所の指定管理者の指定**

ひきつづき、大字若井を指定管理者に指定するものです。

**町リサイクルセンターの指定管理者の指定**

ひきつづき、町シルバー人材センターを指定管理者に指定するものです。

**町農村環境改善センターの指定管理者の指定**

ひきつづき、大字上庄を指定管理者に指定するものです。

**奈良県市町村総合事務組合を組織する市町村等の変更**

**奈良県市町村総合事務組合の規約の変更**

以上の2件は、奈良市と生駒市を除く県内37市町村で組織する奈良県広域消防組合設立に伴い、西和消防組合など4消防組合が解散されることから、同事務組合を組織する市町村組合が変更になることによるものです。

## 生駒郡選奨式で表彰



山口昌亮 議員



山田仁樹 議員

平成25年度生駒郡選奨式が11月6日、三郷町で開催され平群町議会から山口議員、山田議員が特別表彰を授与されました。

# 総務建設委員長報告

平成25年度 一般会計補正予算  
20億2955万5千円を増額補正

・用地先行取得会計繰出金	7億6040万円	・子ども・子育て支援新制度システム構築費	997万5千円
・総合スポーツセンター防災機能強化施設整備設計委託料	1500万円	・幼保一体化施設園舎建設事業費	11億9394万7千円
・かしのき荘駐車場整備費	150万円	・新小学校用地購入費	4799万円

**質問** 幼保一体化施設建設事業費で、延床面積が当初予定の2000㎡から2900㎡に1.5倍に増えた経緯は。

価6・64円で、5万4千枚を作成する。

**質問** 幼稚園就園奨励費補助金の増額内容は。

**答弁** 当初83名分を計上していたが、申請者の増により認定見込み者数が92名あり、3月末までの転入見込み分を含めて、123万8千円の計上をおこなった。

**質問** 当初は現幼稚園の園舎規模を想定していたが、その後、現場等々と意見交換をおこない、その中で要望が出てきた必要な部屋を精査し2900㎡程度の面積に増えた。

**質問** 大規模改造事業費の財源変更の内容は。

**答弁** 財源変更と用地購入費の予算を組んでおり、大規模改造分として国庫補助金で5217万円の増、地方債では充当率の変更により、8380万円の減額となっている。

**質問** 新園開設に伴う通園バス・歩道橋・職員駐車場問題について

**答弁** 通園バスは、基本的には公共交通を利用していただきたいとの考えを持っているが、アンケート調査結果を踏まえて今年度中に一定の結論を出していきたい。

次ページにつづく

**質問** 防災諸費の測量設計委託料の内容は。

**答弁** 総合スポーツセンターに防災拠点整備を考えている。イメージとして太陽光パネルの設置、蓄電池等を計画しており、設計費1500万円の補正予算の計上をおこなった。

**質問** かしのき荘の駐車場の整備内容は。

**答弁** 駐車場が狭隘であることから拡張するもので、新たに9台の増設工事を計画している。

**質問** 子育て支援新制度のシステム構築に係る電算委託料の

**質問** 塵芥処理費の事業・業務委託料の減額補正の内容は。

**質問** ごみ袋の作成について。

**答弁** 10リットル袋を1枚あたり単



**質問** 焼却灰処理事業で緊急雇用を活用した処理計画の立案を考えていたが、灰の処理には専門的な知識が必要であり、緊急雇用で対応する業務にはそぐわないと判断し、補助対象事業からは外し、町単費で実施設計を組んで環境整備をしていく。

**質問** 10リットル袋を1枚あたり単



**質問** 幼保一体化施設建設事業で、文化財の発掘調査状況は。

**答弁** 重機等の準備作業に入っており、26年1月早々には発掘調査に入れる状態で、本調査まで含めて3月には完成できると考えています。

新園の建設に間に合わせるべく、発掘調査ができるかと認識しています。

歩道橋は、現場を確認した結果、錆び、塗装が剥けている部分等、若干補修箇所があり、郡山土木と協議をおこない修繕していただく。

職員駐車場は、園に近いところで確保することが便利と考えるが、現在、南小学校に若干空きスペースがあり、整備をおこない駐車場として利用する方向で考えています。

## 討 論

\* 幼保一体化施設については、建設場所、送迎時の交通渋滞、交通安全の問題や、南保育園の存続を望む声も多くあり、施設そのものについて住民の理解が得られていない。施設の内容や建設費、また、安全面に最大限配慮し、無駄なく建設することを強く求めたい。

\* スポーツセンター残地への防災拠点施設についても、具体的

的な計画を議会にも示していただき、ランニングコストも含めた詳細を説明されることを強く要望し、賛成する。

\* 本町の予算規模からすると、自主財源に匹敵する補正額であり、先行取得して事業化の目途が立っていない土地を、交付税算入等、後年度の負担をできるだけ少なくしていく有利な方法で事業化する総合スポーツセンター周辺に一大防災拠点を造っていく所要の予算の計上。

\* 新園については、幼稚園と保育園が一体となることが決定されており、全国に先駆けて就学前の教育、保育を一律に公平にやっていくことというための所要の予算計上がされており賛成したい。

全員異議なく、原案通り可決することに決しました。

総務建設委員会  
委員長 山田 仁樹

## 議会の動き

### 議会運営委員会

- \* 第5回定例会の議会運営について (11月28日)
- \* 平成25年度議会報告会について (10月2日/11日)

### 文教厚生委員会

- \* 幼保一体施設開設に伴う進捗状況について (10月11日/11月14日/27日)

### 議会改革特別委員会

- \* 議会の日程について
  - ①会期の日程について
  - ②一般質問の日程について
  - ③事前委員会の開催について (10月15日)



### 全員協議会

- \* 定住化促進施策の取り組みについて
- \* 防災拠点（総合スポーツセンター）整備構想について
- \* 平群町観光基本計画の報告について (12月5日)

## 議員提出議案

### 介護保険制度における新たな地域支援事業の導入に係る意見書

提出者 窪 和子  
賛成者 奥田 幸男  
// 高幣 幸生  
(原案可決)

### 給付制奨学金の実現と学費無償化を進めることを求める意見書

提出者 植田いずみ  
賛成者 山口 昌亮  
(原案可決)

### 安心して介護が受けられるために、介護の拡充を求める意見書

提出者 植田いずみ  
賛成者 山口 昌亮  
(否決)

### 特定秘密保護法の撤廃を求める意見書

提出者 山口 昌亮  
賛成者 植田いずみ  
(否決)

# 平群町議会

## 議会報告会を開催

平成25年11月16日午後2時から、中央公民館において、今回で4回目となる議会報告会を開催しました。沢山の方々にご参加頂き、ありがとうございました。

報告会は山口議会運営委員長の司会で、下中議長の挨拶に続き、次の2項目について報告を行いました。

### ・平成24年度決算報告

報告者 決算審査特別委員会  
委員長 井戸 太郎

### ・定住促進について

\*議員行政視察から考える\*  
報告者 総務建設委員会  
委員長 山田 仁樹

主な質疑、ご意見は次の通りでした。

**質問** 10月からごみの有料化が実施されたが、プラスチック類のステーション回収、段ボール出しの禁止によ



り、有料化しなくてもごみの量が12%、総量で8%減っている。目標は10年間で30%減だった筈。議会でも検証すべきである。

**答弁** ごみの有料化については廃棄物減量等推進審議会

で審議しながら、議会でも議論していきたい。

**質問** 国保会計が黒字となっている。何故黒字になったのか分析されていない。

**答弁** 議員が議会の中で、国保の問題、ごみの問題に対しても意見を云っており、今後の議会活動に生かしていきたい。

**質問** 土地の借り上げ料は、公示価格がベースなのか、路線価がベースなのか。

**答弁** 町は、路線価で評価している。

**質問** 定住化策の最も大きいのは企業誘致。

経済付加価値の一番大きい第2次産業（メーカー）の誘致を考えるべきだ。

**答弁** 貴重な提案を頂いた。第3次だけでなく、第2次産業の誘致に、町、議会も取り組んでいく。

**質問** 有料袋5袋を作って

欲しい。（その他、ごみ問題数点）



**答弁** 町にも小さい袋の要望がきている。検討を訴えていく。

**質問** 防犯灯のLED化の補助金について、自治会で一度に取り換え、補助金は後払いとすることは出来ないか。

**答弁** 議会でも議論されている。計画的に実施していくことになっている。

**質問** 高齢者対策。平群駅前にスーパー、病院、高齢者向け住宅を。

**答弁** 議会、行政、住民が知恵を絞って、ずっと平群に住みたいと思えるまちづくりに向けていろんな面を取り組んでいきたい。

**質問** 老人も減少している。日常生活が不便、老々介護の問題もあり、限界集落を感じている。

**答弁** まちづくりでは若者対策、高齢者対策、共に重要。高齢者の知恵も必要。重点課題として取り組んでいく。

### その他の意見

\*議会の傍聴にはなかなか行けないので、議会報告会はいいことだ。ただ参加者が少ない。

\*22年度に議会基本条例を制定されたが、町民の皆さんと協働したまちづくりを、議会から、問題提起、懇談会等を開催して欲しい。

\*ごみの分別を行うことで生ごみが減り、処理費が減っている。財政にどのような効果があるのか住民に知らせる必要がある。

**答弁** \*議会懇談会も行っている。  
\*政策提案出来る議会を目指していき。

# 町政を問う! 一般質問一覧

植田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. デマンドタクシーの導入について</li> <li>2. 広報の配布体制の改善を</li> <li>3. 高齢者肺炎球菌ワクチン助成について</li> <li>4. 廃棄物の回収体制の充実について</li> <li>5. 審議会等公募制委員の選出について</li> </ol>	戎井 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 西小学校の跡地の利活用について</li> </ol>
高幣 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. やっぱ高齢者の転出防止へ</li> <li>2. 駅周辺開発駅前イメージ・パース図はどうなっているか</li> <li>3. 防災行政無線聞こえますか、いえいえ、聞こえない。</li> </ol>	山口 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 廃棄物処理経費削減へ真剣なとりくみを</li> <li>2. ふるさと納税制度の積極的な活用を</li> <li>3. 町広報「マイタウン平群」の充実を</li> </ol>
窪 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時要援護者の避難対策の強化について</li> <li>2. 「高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種助成」と「前立腺がん検診」の導入を</li> <li>3. 次代を担う子どもに一流の文化芸術体験の機会を</li> <li>4. コンビニ納付やペイジー納付、またコンビニ証明書交付の導入を</li> <li>5. 平群駅周辺整備事業における商業店舗誘致の進捗状況について</li> </ol>	奥田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町税の滞納徴収と他市町村の徴収率状況比較</li> <li>2. 三里地区内の旧保育所跡地の建物</li> </ol>
井戸 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平群駅の改札出口を北側に移設し、ロータリーの中心に</li> <li>2. 廃油ストーブの導入を</li> <li>3. 議会ペーパーレス化による効果について</li> </ol>	馬本 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 平群駅前に（仮称）文化センターの建設を</li> <li>2. 近鉄生駒線の危険な竜田川9号踏切について</li> <li>3. 竜田川駅にスロープの設置を</li> <li>4. エアコン未設置の各小中学校に導入計画を</li> <li>5. 集会所新築・増改築等の支援制度の拡充を</li> <li>6. 人間ドックの助成制度の充実を</li> <li>7. 道の駅前の国道敷地トイレ改修を</li> </ol>
山田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 観光誘致について</li> <li>2. 協働のまちづくりの考え方についての中から行財政改革について</li> <li>3. 適正な給与形態や役職制度の見直しによる、業務分割や役割分担を行うことで、全体的モチベーションアップによる業務の効率化を</li> </ol>	繁田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 災害時における職員の活動体制と訓練について</li> <li>2. 指定避難所との協定について</li> <li>3. 地域生活支援事業実施要綱の全部改正について</li> </ol>
		森田 議員	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 町内の近畿自然歩道の活用は</li> <li>2. あいさつ・声かけ運動を推進しては</li> </ol>

これまででも高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への助成制度を求めて、何度か質問をしてきました。この6月議会でも取り上げさせていただきました。最近、TVで肺炎予防を啓発するCMをよく見かけます。CMでは、手洗い・うがいと併せて、ワクチン接種が有効（5年間有効）と宣伝がされています。県下では13自治体が、

## 質問



植田いずみ

## 高齢者の肺炎球菌の ワクチン助成について



これまでも高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への助成制度を求めて、何度か質問をしてきました。この6月議会でも取り上げさせていただきました。最近、TVで肺炎予防を啓発するCMをよく見かけます。CMでは、手洗い・うがいと併せて、ワクチン接種が有効（5年間有効）と宣伝がされています。県下では13自治体が、

## 答弁

これまででも高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への助成制度を求めて、何度か質問をしてきました。この6月議会でも取り上げさせていただきました。最近、TVで肺炎予防を啓発するCMをよく見かけます。CMでは、手洗い・うがいと併せて、ワクチン接種が有効（5年間有効）と宣伝がされています。県下では13自治体が、

併がされてきました。国の定期接種になる、ならないに関わらず、ぜひ来年度から本人負担を出来るだけ軽減（インフルエンザと同等の負担）したかたちで実施していただきたいと思います。

# やっぱり高齢者の転出防止へ



人口減の町、若者の定住化促進は、絶対必要です。人口減にストップには、若者も必要だが、高齢者の転出防止が大きな課題です。

その為にも75歳以上の方々に固定資産税超過税率に相当する額を定住化褒賞として、町内で使える生活必需品の購入消費、飲食店での補助金を支給するような考えは無

## 質問



高幣 幸生

いか。経済の活性化にも大きく貢献するのでは。高齢者の就業支援に繋がる企業誘致等が町の魅力づくりではないか。

町の戦略で、活気ある魅力的な町を目指している。その一環として「住み続けたいと実感できる町平群」には、若者は勿論のこと、高齢者への視点が重要ではないか。

## 答弁

人口対策として、提案の高齢者世帯流出防止策については、現在、具体的に検討を行っていないのが現状である。

しかし、現在、高齢者の方が元気で、いきいきと「健康長寿奈良県」を目指して頂くような、様々な高齢者福祉政策の必要性は十分に認識している。今後、財政状況を見ながら、高齢者の生きがいづくりや、健康づくりを推進する施策を今後にも検討したい。

# 高齢者肺炎球菌予防

# 前立腺がん検診に助成を

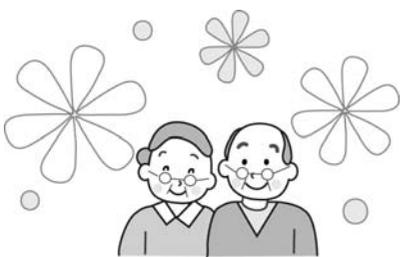


窪 和子

## 質問

肺炎で年間11万人を超す高齢者が命を落としていきます。その予防には、肺炎球菌ワクチンの接種が有効で、一度接種することで5年以上免疫が持続します。しかし、接種費用が60000~80000円程度と高額で接種率が低い。ため近隣でも斑鳩町、三郷町ですでに助成を実施しています。

町においても、早期に接種費用の公費助成を実



肺炎で年間11万人を超す高齢者が命を落としていきます。その予防には、肺炎球菌ワクチンの接種が有効で、一度接種することで5年以上免疫が持続します。しかし、接種費用が60000~80000円程度と高額で接種率が低い。ため近隣でも斑鳩町、三郷町ですでに助成を実施しています。

## 答弁

前立腺がんは、男性特有の高齢者のがんと言われています。早期発見には血液検査ですむため、全国の自治体では約7割の助成をしている。

町として年間100万円~150万円の経費がかかるため、平成26年度より助成ができないか検討している。

前立腺がん検診の有効性を確認するまで、しばらく検討したい。

前立腺がん検診の有効性が確認するまで、しばらく検討したい。

# 平群駅改札出口を移設し ロータリー前へ



井戸 太郎

## 質問

平群駅前の様子を見ると、平群駅周辺整備事業が着実に進んでいることがわかる。

しかし依然として、この80億円規模になる事業に対し、住民の方々からの要望や不満を耳にする。

その中で、駅改札出口の前に、ロータリーがある

しいという要望が多い。平群駅の土地、駅舎は、駅周辺事業用地ではないため、近畿日本鉄道会社との話し合いがまとまれば、平群町が直接方針を決めることができる。

少しでも多くの住民から理解を得るためには、平群駅改札出口を今より北側へ移設すべきではないか。駅を動かすという考え方である。

駅改札出口を出てすぐにロータリーやバス停、送迎車の停車場がないのは、やはり不自然。

「平群駅改札出口前には新しいロータリーがある」ようにするべきだと思いが、いかがか。

## 答弁

25年の7月から、近畿日本鉄道会社との協議を行っている。

今後、駅改札出口の移設も含めて、協議していききたい。

# 観光誘致について



山田 仁樹

## 質問

歴史や史跡と自然から見た観光について、お聞きします。

平群町には、歴史上の主人公として大河ドラマに登場する様な、人物と深い関係が特にあるわけではありません。

そのためにも、島左近や松永久秀等の人物について、解りやすい本で町民が理解を深め、宣伝マンになれるような展開を。この私の提案を機に、『自然と歴史の玉手

箱』が作成されたと言っている。

観光誘致の必要性・重要性は、第5次総合計画にも明記されており、課題として『人々が訪れやすい整備を行う他、回遊しやすくするための工夫

が必要』と記されている。

①現在学校で郷土についての理解を深める教育を進めておられるのか?

②訪れた方々への案内の充実のため、各4駅へのハイキングコースや名所の案内看板だけでは解りづらいので、地図を常備すべきだと思いが?

## 答弁

①小学校3年生以上の社会科学習等で、町の歴史や自然について学んでいる。今後、町発行の『自然と歴史の玉手箱』等も教材として積極的に活用していきたい。

②早急に近鉄と協議し、地図常備等の環境整備に努めていきたい。



# 西小学校の跡地の 利活用について



西小学校は平成26年3月で東小学校と再編され、廃校となる。跡地の利活用を考える段階にきている。  
小学校はいつまでもなく、子供達の教育の施設であると同時に、地域のコミュニティの場でもある。地域住民が有効に活用出来る、百四〇年の歴史に恥じない跡地利用を考えなければならない。

## 質問



戒井 政弘

その意味で、校区住民の皆さんとの地域公聴会の開催は、時宜に適切な催しであったと評価する。そのうえで

①公聴会ではどんな意見が出されたか。

②出された意見を踏まえて、町が考えている利活用の案は。

③町内外を問わず跡地利活用について照会、申し出等があったか。

④本件への今後の取り組み予定について。

## 答弁

①「コミュニティ、住民の交流施設や、災害時の避難所を」等々が出されたが、「地域の意見集約の場を持つて欲しい。」がおおかたの意見であった。②現在具体案はないが、長期空洞化は避けたい。③一件あったが合意には、至らなかった。④関係大字、自治会役員対象に意見集約を図る。

# 廃棄物処理経費削減へ 真剣なとりくみを



山口 昌亮

## 質問

この間、廃棄物の処理委託費がまだまだ削減できていることを近隣自治体との比較で指摘し、若干下がってきたが、まだまだ不十分。粗大、廃プラ類、缶・ビン、剪定枝葉の処理委託単価は斑鳩町に比べて相当に高く、適正な単価とは言い難い。

競争原理を働かせれば委託の処理単価が下げられることは、平成20年度にトン単価3万1500円だった缶・ビンが、入



札したことで21年度は上半期が1万5540円、下半期が1万3125円に大幅に下がったことからも明らかだ。  
入札などの競争原理も活用して処理費を大幅に

## 答弁

引き下げるようにすべきだと考えるが、町長の見解はどうか。

ごみの処理経費については、収集から最終処分までの過程において、市町村それぞれの処理施設の設備状況や処理手法が異なることから経費は違ってくるので、斑鳩なみにはならないものと考えられる。

処理単価については引き続き交渉を進めるとともに、処理工程での手法を見直していく中で、競争原理を働かせる手法を取り入れていく。

## 町税の滞納徴収と徴収率状況について



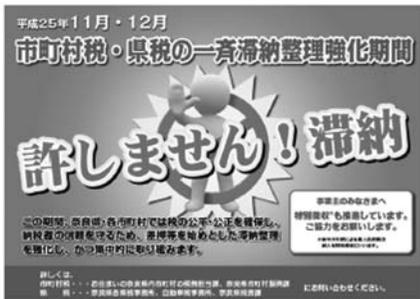
奥田 幸男

### 質問

経済環境の悪化により税の負担は厳しいものがある。

そのため町税滞納額も増加すると考えるが、本町の滞納状況を過去5年前と比べてどんな状況になっているか。

町税を滞納する人が増えると単に町の収入が減るだけでなく、納付している人と滞納している人の不公平不均衡が生じて新たな滞納の原因となる



ことが心配される。また、督促などの費用として町民の納めた税金を使うという悪循環を招き、有効な税金の使い方が出来なくなる。滞納整理を一層強化していく必要がある。町当局の考え方を説明下さい。

### 答弁

滞納を減少させ町税を増加させるために、日頃より納付相談等に応じ、不動産、預貯金等の調査により、差押えによる滞納処分も相当行っている。また、26年1月には町有地の公売と合わせ、差押えした不動産もインターネット公売を予定している。

徴収率については、平成20年度では84・9%、平成24年度では96・8%、奈良県では92・8%、全国平均で93・7%、県内39市町村中8位、県内町別では、3位となっている。

## エアコン未設置の

## 各小中学校に導入計画を



馬本 隆夫

### 質問

東・西小学校再編により、現在の東小学校は平成25年度・26年度の2ヶ年をもって、大規模改造工事中であります。

改修計画は、重油による暖房機器をガス機器に変更する予定であったが、ガスよりエアコン設置費が安価とのことから、来年度より平群小学校の普通教室はエアコンが稼働します。私は、「各小中学校に学習環境の改善を図るために普通



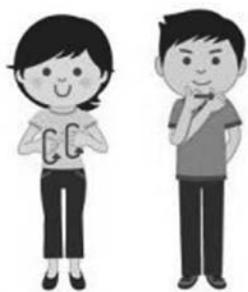
なりません。将来の平群町を担っていただく小・中学生は、良い環境で教育を受けることは勿論の事、保護者の願いでもあります。

町は、良好な学習環境を公平・平等に提供する責任があり、2小学校・中学校にエアコン設備の導入計画をすべきであると思いますが、いかがお考えですか。

### 答弁

導入計画については、大規模改造事業に伴う「中・長期計画」を立てる中で、教育委員会としては、優先順位を①中学校・②北小学校・③南小学校)と考えております。

# 地域生活支援事業 実施要綱の全部改正



## 質問



繁田 智子

①要綱の全文が改正され、12月1日から施行されています。日常生活支援の内容が非常に分かりやすくなりました。

第7条では、町内で活動する障害福祉団体等に対する補助金交付制度も明記されていますが、当該団体への周知はされているのですか。  
②手話通訳等の派遣案件として「聴覚障害者等で身体障害者手帳の交付を受けた者」とありま

す。  
手帳を保有していない人でも必要に応じて、手話通訳や要約筆記者の派遣をお願いします。  
第20条に「庁舎内に手話通訳者を配置する」とあります。新年度から設置されるのでしょうか。

## 答弁

25年、障害者自立支援法が障害者総合支援法に変わり、国の地域生活実  
施要綱も改正された。  
市町村の必須事業が追加され、難病患者も障害福祉サービスの対象とされたことに伴い、町の要綱を全面改正した。

①補助制度の当該団体への周知は、広報などを通じて行いたい。  
②手話通訳者の設置

は、今後2年ぐらいで市町村に義務付けられると判断している。義務化されてからの有資格者の確保は難しいので、早期に人材確保に努めたい。

# 町内の近畿自然歩道の活用は



森田 勝

## 質問

町内には、当時の環境庁の構想に基づき整備された、近畿自然歩道「生駒・鳴川・十三峠をめぐるみち」、「高安山・信田丘陵をこえるみち」、「矢野コースがある。それを町は、もっと活用すべきでは。

①町第5次総合計画や、町観光基本計画と整合性はあるのか。  
②近畿自然歩道で整備したので、草刈り等の県補助金が付いているのか。



③町観光マップを、近鉄の「てくてくマップ」の様に、地図だけで歩ける様に、最寄駅からの距離、目印等の表現したものにすべきではないか。また、プラス食べるところ、泊まる場所の案内

内も掲載すべきではないか。

## 答弁

①町の4つの推奨コースは、近畿自然歩道の多くと連動している。ただ、「生駒・鳴川・十三峠をめぐるみち」は、広域連携で生駒縦走歩道として活用している。  
したがって、各計画との整合は図られている。

②県補助金はないが、「生駒・鳴川・十三峠をめぐるみち」の十三峠より南側の歩道のみ奈良県より草刈り等を受託し、地元へ委託している。  
③次回制作の参考にしたい。また、飲食・宿泊等の情報は重要と認識している。

# 生駒郡町村議会議員研修会

## 助かる命を守る共助

～地域防災ははじめの二歩～

講師 市民防災ラボ 代表 玉木 貴氏

昨年11月8日、いかるがホール 小ホールにおいて、市民防災研究家、市民ラボ代表の玉木貴氏を迎えて、生駒郡町村議会議員研修会が開催されました。

玉木氏は、自分の水害経験を機に、従来の防災啓発に疑問を感じ、市民防災事情の研究をはじめられ、災害時には被災地で調査支援活動を行う傍ら、平時はその教訓をもとに防災普及啓

発活動をされています。

講演では、災害時になぜ共助が必要か。その必要性と発足させた自主防災組織における活動の手始め、また既に設立された自主防災活動を見直すための、地域防災活動において最初に取り組むと良い4つの分野、「①地元事情にあつた対策②情報班の初動の大切さ③助かる命を守る救出救護④人を助けるにはわが家の対策から」といったポイントを、自分の体験から開催地の地域事情や過去

の失敗例をお話いただきました。



## 編集後記

昨年、京都嵐山が洪水に見舞われ騒ぎとなった。

古来京都や奈良の中心部は、大きな自然災害はないとされてきて、古人はそのことが判っていて、都をこの地に置いた、との説もあるらしい。

結果的には、人的被害もなく不幸中の幸いというべきだろう。

わが平群町も、さほど大きな自然災害に見舞われずに済んでいることは、ラッキーなことである。

平群の地名は、都の辺(へ)からきているとの説があるらしい。辺でも、はずれでもない。都の威光で、自然災害から免れるなら、有難いことと言っておく。

戒井 記



# 町の話 題



## 信貴山 節分大法要鬼追式

朝護孫子寺で毎年、2月3日、節分大法要・星祭法要・鬼追式(豆まき)が行われます。

『人はすべて生まれ年それぞれの星を持っています。星祭法要は、その星に対して除災・招福を祈願して行われる法要です。』

節分大法要の後は、節分の豆まき行事です。あばれる赤鬼、青鬼を毘沙門天王が退治し、吉祥天女が福豆を授けるとの逸話にちなんで行われます。鬼が木棒やタイマツを持ち、本堂から僧侶や年男、年女に追われる様は圧巻。各宿坊門前まで逃げ廻ります。』(「信貴山真言宗 総本山朝護孫子寺の公式サイト」より。写真も)。

午後5時に本堂で法要が始まり、5時半頃、鐘の合図と共に松明に火が点けられ、太鼓の連打を合図に、赤鬼、青鬼が現れて、豆まき行事になります。

本堂を追われた鬼は、各宿坊に現れ、さらには山門外の信貴山地区(平群、三郷両町の約180軒)のすべての民家にも現れ、福豆を授けます。

この行事には、信貴山地区の青年らでつくる信和会が鬼や毘沙門天に扮するなど、協力しています。

なお、行事が始まる前には見物客にも福豆が授けられます(先着500袋)。

山口 記